

# 令和2年度石川療育センター児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価の結果

(重症心身障害児の方へのサービス内容に関して)

## 適切な支援の提供

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点／課題や解決すべき点
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%			利用があれば、生活介護と同様に細かくアセスメントを行い、ニーズを整理し、個別支援計画の作成・実施をしていきたいと思ひます。
2	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
3	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%			(記入漏れ25%)
4	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%		利用者によっては固定していた方が安心な方もいると思うので、工夫していきたいと思ひます。
5	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		25%	75%	現在利用者がいませんが、要望があった場合は検討をします。長期休暇については家族に任せていますが、希望される方には定期的に連絡をしていきます。
6	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	50%	25%		(記入漏れ25%) 個別と集団を分けての計画をしていませんが、利用者のニーズに合わせた活動を取り入れるようにしたいと思ひます。
7	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%		毎朝ミーティングは行っていますが、細かな役割分担までは行っていません。
8	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25%	75%		気づきや振り返りは行うようにしていますが、毎日とは言えません。気になったことは必要時に話し合い、共有するようにしています。
9	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%		正しい記録を心がけています。支援者と記録者が同じとは限らないので、記録が抜けないように情報を共有しています。
10	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
11	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100%			

関係機関や保護者との連携

	チェック項目				
1	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎時等を利用して、家庭での様子を伺い、利用時の様子もお伝えしています。電子メールの利用を開始しました。

保護者への説明責任等

	チェック項目				
1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			相談があった時には話を伺い、必要時は医師や作業療法士、相談員に繋がります。
2	個人情報に十分注意しているか	100%			
3	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			

環境・体制整備

	チェック項目				
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%		新型コロナウイルス感染拡大防止対応として利用者同士の距離を開ける必要があります。十分な広さとは言えません。
2	職員の配置数は適切であるか	100%			
3	子どもの特性に合わせた環境の工夫がされているか	75%		25%	多機能型ですが、現在対象者がおらず、こども向けとはいえません。しかし、対象者の利用があれば工夫していきたいと思います。

業務改善

	チェック項目				
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			
2	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
3	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	75%			（記入漏れ25%）
5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25%	25%	50%	新型コロナのため例年通りの研修には参加できませんでしたが、オンラインでの研修等には出来る範囲で参加しています。

関係機関や保護者との連携

	チェック項目				
1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			現在対象利用者がいませんが、利用があれば出来る範囲で参加したいと思います。
2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			
3	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			
4	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			保護者様を通して情報を共有し、必要時は当機関の医師と主治医が連絡を取って情報交換を行います。
5	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
6	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			
7	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	25%	50%	新型コロナ感染拡大防止のため参加はしていませんが、機会があれば参加したいです。
8	子どもへの活動や支援は、地域や地域の子どものとの交流につながっていく見通しを持って行っているか	50%	25%	25%	現在対象者はいませんが、利用があれば地域との交流の見通しをもった支援を考えていきたいです。
9	（地域自立支援）協議会・児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	75%		25%	新型コロナ感染拡大防止のため参加出来ていませんが、機会があれば参加したいです。
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%			

保護者への説明責任等

	チェック項目				
1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
2	保護者同士の交流やつながりが生まれる場になっているか。また、そういった場を作っているか。		50%	50%	親睦会や活動公開を年に一度行ってますが、今年は新型コロナ感染拡大防止のため実施出来ていません。新型コロナの終息が見えない状況であり、今後はオンラインの使用などの検討をしていきます。
3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			

4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
5	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	今年は新型コロナ感染拡大防止のため実施していません。

非常時等の対応

	チェック項目				
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	50%	50%		マニュアルは部屋や送迎バス等に備えてあります。保護者には始めに説明し、悪天候、火災、地震等緊急時についての対応については、お便りでお知らせしています。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			新型コロナ感染拡大防止のため、利用者の避難訓練等の参加はありませんでした。職員は、消火訓練等できる範囲で参加しています。
3	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			
4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハットの記録ノートを作成し、活用しています。
5	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
6	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%			